

# 標準電波の偏差表

## 第二部標準課

1. 放送周波数の偏差は送出用水晶発振器と一次標準器となる水晶発振器群との相互比較の結果より求めるのであつて、これら一次標準器は東京天文台の決定する平均太陽時により校正するものとする。

2. 報時信号の偏差は東京天文台の決定する平均太陽時に対するものであつて、同天文台で受信電波について測定するところによる。報時パルスは送信機の周波数を制御するのと同じの水晶発振器で制御される。

3. (a) 周波数: (+) 記号は放送周波数の高

かつたことを、(-) 記号は低かつたことを示す。偏差率は  $1 \times 10^{-8}$  で表す。(\*) 記号はその日に周波数調整を行つたことを示す。

(b) 報時信号: (+) 記号は発射時刻信号が正しい時刻よりも早かつたことを(-) 記号は遅れたことを示す。偏差は0.001秒で表す。(\*) 記号はその日に時調整を行つたことを示す。

偏差の値は毎日日本標準時 9時における値である。

日附 1954 9月	周波数 $1 \times 10^{-8}$	時刻 0.001秒
1	+0.1*	-5
2	+1.8	-4
3	+1.9	-2
4	+2.0	0
5	+1.9	+2
6	+2.0	+4
7	+2.0	+6
8	+2.1	+8
9	+2.1*	+10
10	+0.7	+11
11	+0.8	+12
12	+0.8	+12
13	+1.1	+13
14	+1.0	+14
15	+1.0	+15
16	+0.9	+16
17	+1.0	+17
18	+1.0	+17
19	+1.1	+19
20	+1.1	+20
21	+1.0	+21
22	+1.1	+22
23	+1.0	+23
24	+1.1	+24
25	+1.2	+25
26	+1.2	+26
27	+1.2	+27
28	+1.3*	+28
29	0	+28
30	+0.2	+29

日附 1954 10月	周波数 $1 \times 10^{-8}$	時刻 0.001秒
1	+0.2	+29
2	+0.3	+29
3	+0.4	+29
4	+0.4	+29
5	+0.5	+29
6	+0.6	+30
7	+0.5	+30
8	+0.6	+31
9	+0.6	+31
10	+0.6	+32
11	+0.6	+32
12	+0.7	+33
13	+0.7	+34*
14	+0.7	+15
15	+0.7	+16
16	+0.7	+17
17	+0.9	+18
18	+0.8	+18
19	+0.7	+19
20	+0.6	+20
21	+0.7	+21
22	+0.9	+21
23	+1.0	+21
24	+1.0	+22
25	+1.1	+23
26	+1.1	+24
27	+1.2	+24
28	+1.3	+25
29	+1.5	+27
30	+1.6	+29
31	+1.8	+30

日附 1954 11月	周波数 $1 \times 10^{-8}$	時刻 0.001秒
1	+1.8*	+32
2	-0.7	+32
3	-0.7	+32
4	-0.4	+32
5	-0.4	+31
6	-0.2	+31
7	-0.1	+31
8	-0.1	+32
9	0	+32
10	+0.1	+33
11	+0.2	+33
12	+0.1	+33
13	+0.2	+33
14	+0.4	+34
15	+0.3	+34
16	+0.4	+35
17	+0.5	+36
18	+0.5	+37
19	+0.5	+38
20	+0.6	+39
21	+0.8	+40
22	+1.0	+41
23	+1.1	+42
24	+1.4	+44
25	+2.0	+46
26	+2.5*	+48*
27	/	+36*
28	+2.8*	+37
29	+1.4*	+39
30	+2.1	+41